



松久喜樹 Yoshiki Matsuhisa

大阪芸術大学 教授

Email : y-matsuhisa@sakai.zaq.ne.jp  
〒590-0133 大阪府堺市南区庭代台1丁21-15  
TEL: 072-292-6609

■主な経歴

- 1950年 生まれ
- 1975年 大阪芸術大学 環境計画学科卒業
- 1979年 サンディエゴ州立大学修士課程修了
- 1981年 UC Berkeley MLA 修士課程修了
- 1982年 アンソニーガード設計事務所 (US)
- 1986年~ 大阪芸術大学
- 2004年 UC Berkeley客員研究員

■所属等

- 日本造園学会正会員
- 都市環境デザイン会議正会員
- 日本造園修景協会正会員
- IFLA Japan正会員

■著作

- 「デザイン系学科をめざすあなたへ」 教学社 (共著)
- 「ランドスケープデザインの探究」 澤標

■活動のビジョン

情報社会の到来は世界のあらゆる場所に瞬時に情報が伝わる反面、それぞれの地域性が失われるのが危惧される。いかにしてローカルな地域文化を世界に発信していくかが常に問われている。都市に人間活動と自然のバランスのとれた環境を創り出すことのできるランドスケープデザインが必要とされているのではないのでしょうか。日本の洗練された文化と本来の自然に寄り添って生きるライフスタイルを都市環境において実現させたい。

■自身が考える都市デザイン、まちづくり等の課題と解決策等

日本の急激な人口減少は、60年後には人口が現在と比べ半減することが予想されている。このことによって都市が縮小することは、新たに都市施設や住宅を大量に造る時代から減らす時代へと移行することを意味している。減築は悪いことばかりではない。新たに生まれた場所をどのようにするかによって様々な利用が考えられる。緑のオープンスペースを増やすなど環境や防災面からの効用、子供の遊び場やフリーマーケットなどに使用することもできる。地域コミュニティを高めることができれば、孤独死や治安対策に繋がる。都市の改造を念頭においてオープンスペースの再構築が求められる。

■自身が関わった活動・作品・現場の概要

- 1 大阪府貝塚市公園墓地計画 1989年
- 2 堺市船堂公園基本計画 1991年
- 3 岸和田旧港再開発基本計画 1996年
- 4 風と緑の回廊 2013年(大学)  
アベノ・新世界となんばをつなぐ土と緑の回廊
- 5 風と緑の回廊 2010年(大学)  
国道308号から広がる風と緑のまちづくり
- 6 緑と歴史の回廊 2011年(大学)  
藤井寺市を世界遺産のまちへ



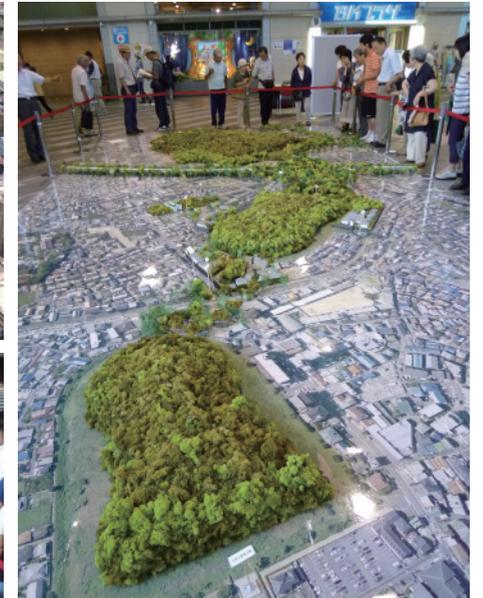
1 大阪府貝塚市公園墓地計画



2 堺市船堂公園基本計画



3 岸和田旧港再開発基本計画



4 左上 大阪市役所玄関ホール  
5 左下 NHKホールアトリウム  
6 右 NHKホールアトリウム

■おすすめ景観

大阪ディープサウスの風景

大芸に近い推古天皇陵は、大阪府南河内郡太子町にある。聖徳太子の墓所とされる叡福寺北古墳や小野妹子の墓と伝えられる塚など、この辺り一帯はまさに古代ロマンの宝庫である。近くには日本最古の官道である竹内街道があり、大阪にもまだこのような風景が残っていることを知って欲しい。

